

平成26年度

# 宮城県公立高等学校入学者選抜 前期選抜 学校独自検査問題

(宮城県宮城第一高等学校 普通科)

## 作文(小論文)

(第4時 13:00~14:00)

### 注 意

- 1 「始め」の合図があるまで、開いてはいけません。
- 2 問題冊子は1ページから6ページまであり、中に解答用紙がはさんであります。
- 3 「始め」の合図があったら、乱丁・落丁を確認し、別紙の解答用紙に受験番号を書きなさい。
- 4 問題は問1から問5まであります。
- 5 答えは、すべて別紙の解答用紙に書き入れなさい。
- 6 「やめ」の合図で、すぐ鉛筆を置きなさい。

次の文を読んで、問1～5の設問に答えなさい。

先日、NHKの「ようこそ先輩」に出演した時のことだ。

母校であるさいたま市立宮原小学校に帰り、六年三組で授業をした。授業の内容はというと……私は(1) バングラデシュという国に自社工場を持ち、そこで靴や小物を製造し、日本や台湾の直営店で販売している。授業の中で、子どもたちは鶴を折り、その鶴を先生役である私からお金に換えていくというゲームをやった。

授業の前半、鶴はまさに「大量生産型」。生徒たちは何百という鶴を折り続け、しまいに雑な折り方になっていき、当初一羽が五〇〇円程度だったのに、品質が悪いため、次第に四〇〇円、三〇〇円、なかには五〇円の子もいたが、私に買ったたかれていくというストーリー。そしてこれでもか、と鶴を折り続けて四時間目にもなり、私が突然子どもたちに告げた。

「もうこんな同じような鶴はいらない！ これからは私が欲しいと思うような鶴しか買わない。さあ、ここにいろーんな材料を用意したから工夫して作ってごらん！」

子どもたちは次々と材料のあるテーブルに集まってきた。そこにはカラーペンや、布、マスキングテープ、ビー玉、小箱、ビーズなど山ほどの材料がある。「わあー、私これ使う！」「あはは、僕この箱もーらい！」

手にいっぴいの材料を抱えて再び作業に向かった彼ら。同じものを大量に作っていた彼らとは表情も手つきも全く違い、すごい集中力で切ったり、貼ったり、議論をしたり、教室中は大騒ぎだ。

「先生！」はずかしそうに、でも胸を張って手をあげた男の子がいた。

「はい、もうできたのー?!」わくわくしながら彼の机を覗き込むと、そこにはなんと、「鶴」という一文字が、大きな筆で堂々と書かれていたのだ。私は言葉を失ってしまった。子どもたちの創意工夫の力、子どもたちの枠にとらわれない発想力。なかには、水槽を箱で作ったり、そこにビー玉を敷き詰めて「湖」を作り、その中に大型の鶴を浮かせた子もいた。さらに大きな鶴から小さな鶴まで手をつないでいる親子鶴も。どの机も個性の塊だった。

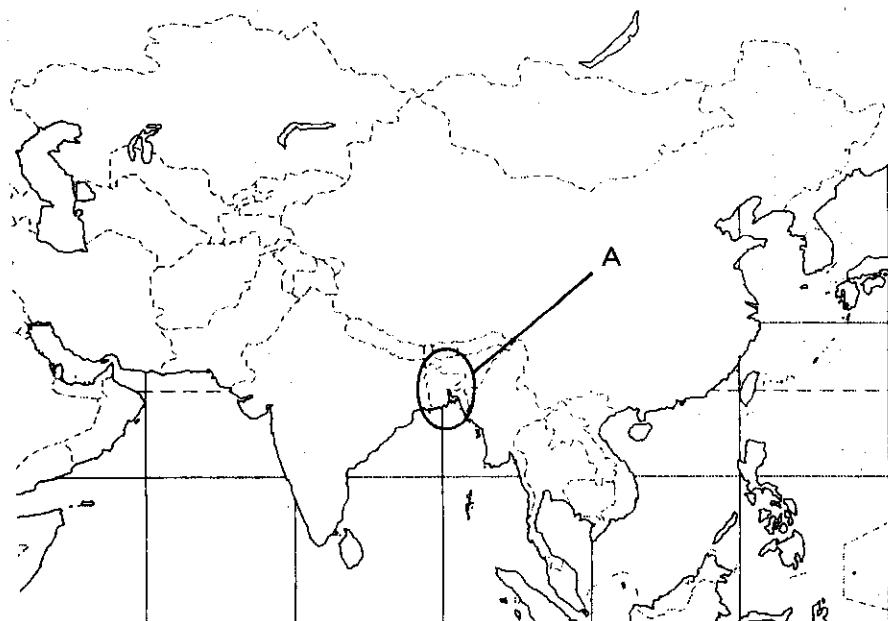
日本の若者は……、という言葉をよく聞く。しかし彼らはしっかりと自分たちなりに頭を使って、固定観念にしばられることなく、創作をしていた。

いつから、何歳を過ぎる頃から、「鶴を作る＝鶴を折る」という発想しかなくなってしまうのだろうか。子どもたちが本来持っている創造力は、未来を作る力の源泉だと思う。(中略)

### 問1

文中……線部(1)について、バングラデシュは、次の図1の地図上のAに位置する国です。また図2のグラフはバングラデシュの一年間の気温と降水量について表したものです。これらの資料を参考に、バングラデシュの自然環境について正しく述べているものを、左の①～④より一つ選んで答えなさい。

【図1】



〔高等学校 地理白地図 (初訂版)〕 (帝国書院) より作成

現在、日本や台湾で一五店舗の直営店を持ち、自社工場では一〇〇人のベンガル人の職人たちが切磋琢磨し合いながら「Made in Bangladesh」と誇り高く刻印されたバッグを作り続けている。日本、台湾、そして二カ国目の生産拠点となったネパールを含めると総勢二〇〇人のマザーハウス（※注1）スタッフが同じ夢に向かって歩いている。

そんな背景を知らなくても、お持ちだったブランドのバッグをやめてマザーハウスを選んでくださるお客様が本当に多くなった。しかし、はじまりはたった一人。バン格拉デシユII かわいそう、ではなく「バン格拉デシユもやればできるんだ!」という、私自身の「超主観」から始まったのだ。

授業の最後にスカイプ（※注2）で、なんと工場につないだ。

スクリーンの先には、子どもたちがはじめてみた、ベンガル人の職人たちが笑顔で大勢待ち構えていた。最初はちよつとびくびくしていた子どもたちだったが、次第にたくさんの質問がでた。

「ねえ、お仕事は楽しいの?」「子どもは今何歳? 学校に行っているの?」「お休みの日は何するの?」

国境を越えて、コミュニケーションをする子どもたちの楽しそうな表情を見ていた。

「何時間勉強するの?」

「朝と夜で四時間ずつくらい僕の子どもはするよ」

そんなスタッフの返事を聞いて日本人の子どもたちはびっくり。「どうして?!」と訊くと、

「僕らの学校では先生一人が一五〇人くらい教えるんだ。だからいちいち全員に丁寧に教えるわけにはいかない。自分たちでしっかり勉強しないと全然だめだよ」と答えていた。（中略）

子どもたちのエネルギーに圧倒され、ヘトヘトになりながらも、子どもたちのための授業というより、いつの間にか自分自身がたくさんの気づきをもたらしたことに幸福感でいっぱいだった。鶴を抱えて教室を出ようとした時にある男の子が話しかけてきた。

「先生! (2)バン格拉デシユの人たちってなんか、かっこいいね!」

思えば、そんな言葉を聞きたくて、起業し、ひたすら工場でバッグを作ってきたんだと最後にまた気づかされた授業だった。（後略）

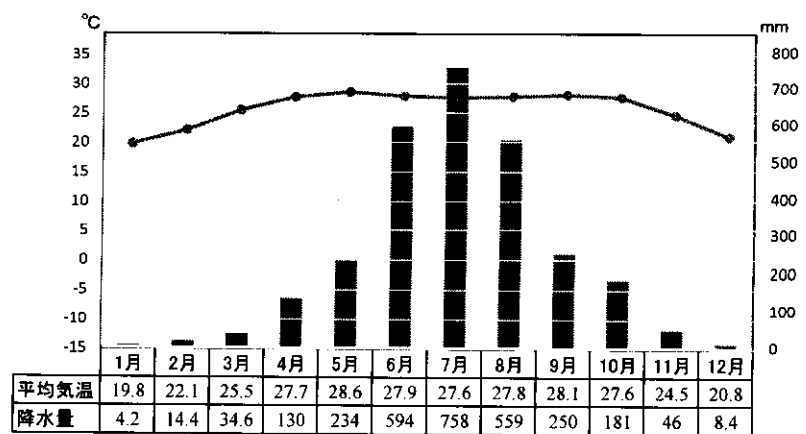
（「自分の物差し」山口絵理子・文（池上彰編『先生!』（岩波新書）より）

（※注1）筆者が経営するバッグ会社の名前。

（※注2）スカイプ・テクノロジー社が開発した、インターネットを使ったテレビ

電話システム及びソフトウェアの名称。

【図2】



（『理科年表 第74冊 平成13年2001（国立天文台編）』（丸善株式会社）より作成）

① 国土の大半は、ヒマラヤ山脈に水源をもつガンジス川などの大河が流れる平野である。年間を通して降水量が少なく、小麦の栽培に適した地域である。

② インドの西側にあり、西南部をマレーシアに接している。年間を通して気温が高く、特に夏は高温多湿で米やトウモロコシ、コーリヤンの栽培に適した地域である。

③ インド洋に面し、国土をガンジス川などの大河が流れる。夏は特に降水量が多く、米の耕作に適しているが、しばしば洪水が発生している。

④ 国土の大部分が平地で、冬は乾燥しているため、小麦の栽培に適している。平地は熱帯性の気候であるが、中部や南部の山岳地帯は冷涼で、大都市にも近いので近郊栽培に適した地域である。

問2

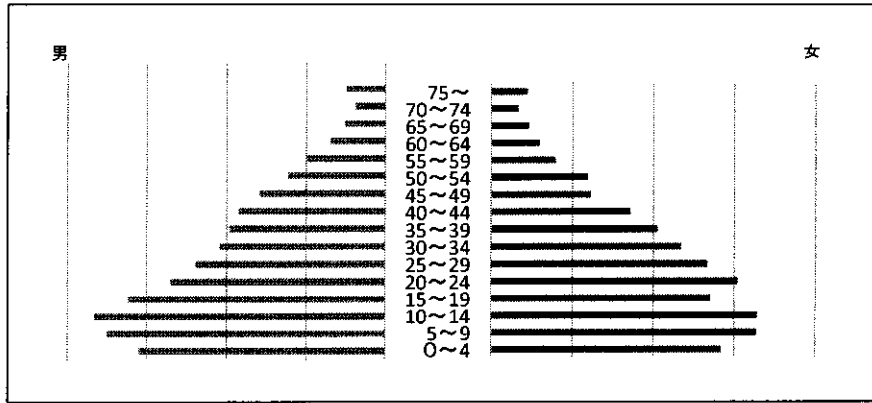
次の表1は、バングラデシュの男女における五歳毎の人口を表したものです。この表を参考にしながら、バングラデシュの人口ピラミッドとして正しいものを、次ページの①～④より一つ選んで答えなさい。

【表1】

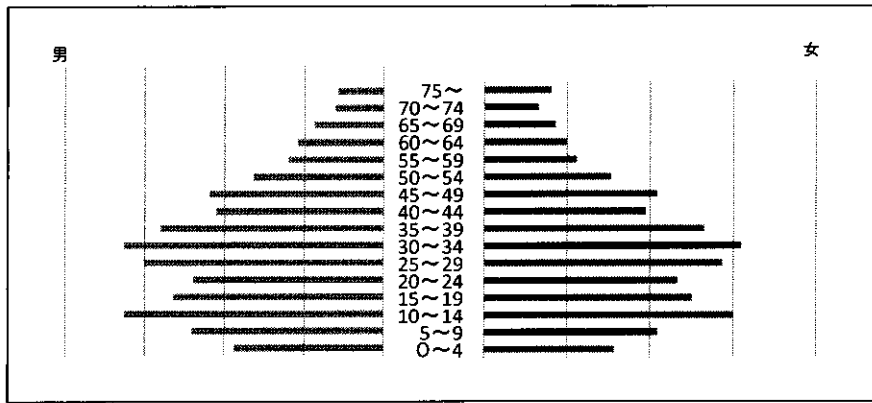
年齢	男	女
0～4	7,757	7,089
5～9	8,766	8,188
10～14	9,171	8,210
15～19	8,101	6,762
20～24	6,772	7,596
25～29	5,985	6,668
30～34	5,233	5,865
35～39	4,936	5,139
40～44	4,628	4,291
45～49	3,965	3,070
50～54	3,087	2,966
55～59	2,497	1,990
60～64	1,744	1,500
65～69	1,307	1,178
70～74	943	856
75～	1,228	1,132
総数	76,120	72,500

出典 総務省統計局編集・刊行「世界の統計2013」より作成

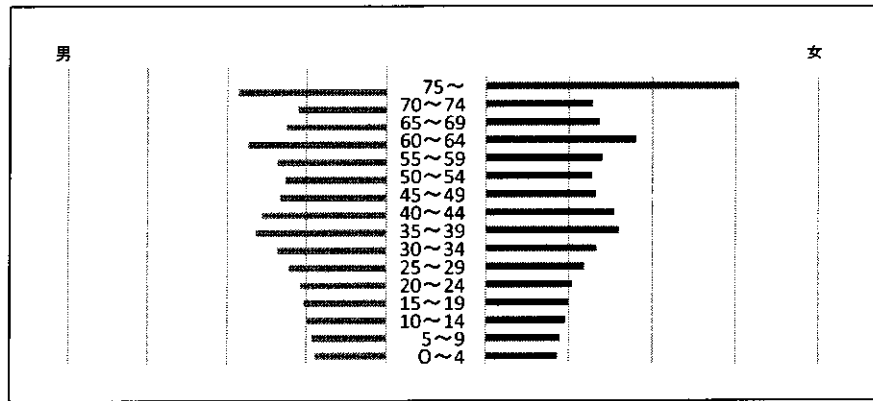
①



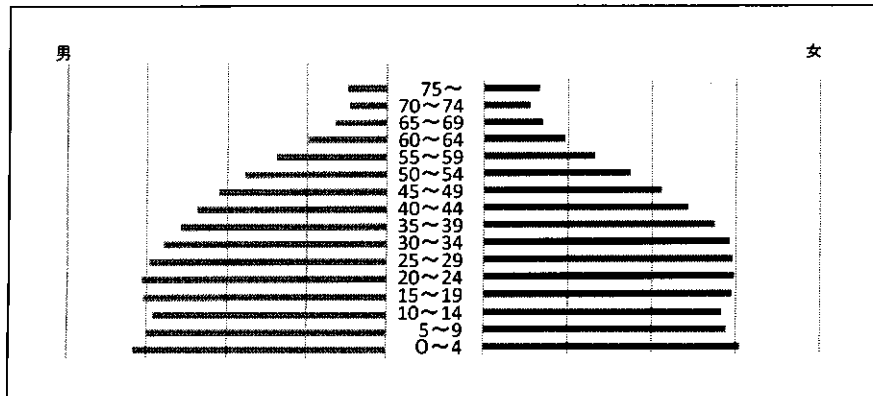
②



③



④



問3

左の表2は、バングラデシュと日本の現状について比較した表です。この表を説明した下の文ア～オについて、正しく述べているものには「○」、誤って述べているものには「×」を、それぞれ答えなさい。

【表2】

		日 本	バングラデシュ
人口（単位100万人。2011年）		128.1	149.8
国土面積（1,000km <sup>2</sup> ）		378	148
1人当たりの国内総生産（単位米ドル。2011年）		42983	706
満1歳未満の死亡率（1,000人あたり。2010年）		2	38
妊娠・出産時の妊婦の死亡率（出産10万あたり。2008年）		6	340
教員1人当たりの生徒数（初等教育。2010年）		17.8	43.0
産業別就業者割合（15歳以上。単位%） （日本：2008年） （バングラデシュ：2005年）	第一次産業	4.2	48.1
	第二次産業	27.3	14.5
	第三次産業	67.3	37.4

出典 総務省統計局編集・刊行「世界の統計2013」より作成

ア 上の表から、バングラデシュは日本より人口密度が低いことがわかる。

イ 上の表から、バングラデシュの一人あたりの国内総生産は、日本の約六〇分の一であることがわかる。

ウ 上の表から、バングラデシュは日本より安全に出生・育児ができる環境が整っていることがわかる。

エ 上の表から、バングラデシュの教員一人当たりの生徒数は日本の二・四倍であり、特に初等教育の教育環境は充実していることがわかる。

オ 上の表から、バングラデシュでは急速に工業化が進み、国民の半数以上が製造業に従事していることがわかる。

**問4**

日本とバングラデシュには、生活や環境などで違いが見られますが、文中……線部(2)で、日本の子どもたちはバングラデシュの人たちに対して、「なんかかっこいいね」と言っています。この「かっこよさ」には、バングラデシュの人たちのどのような生活や生き方が反映されているとあなたは考えますか。本文の内容をふまえ、表2のデータを具体的に取り上げて、二〇〇字以内で述べなさい。

**問5**

この文章の著者は「自分の主観(自分の物差し)」を持つことの大切さを主張しています。主観を持つことの良い面、悪い面の両方を具体的に述べ、それらをふまえた上で、あなたが考える「自分の主観を持つことの大切さ」について、五〇〇字以内で述べなさい。

以  
上